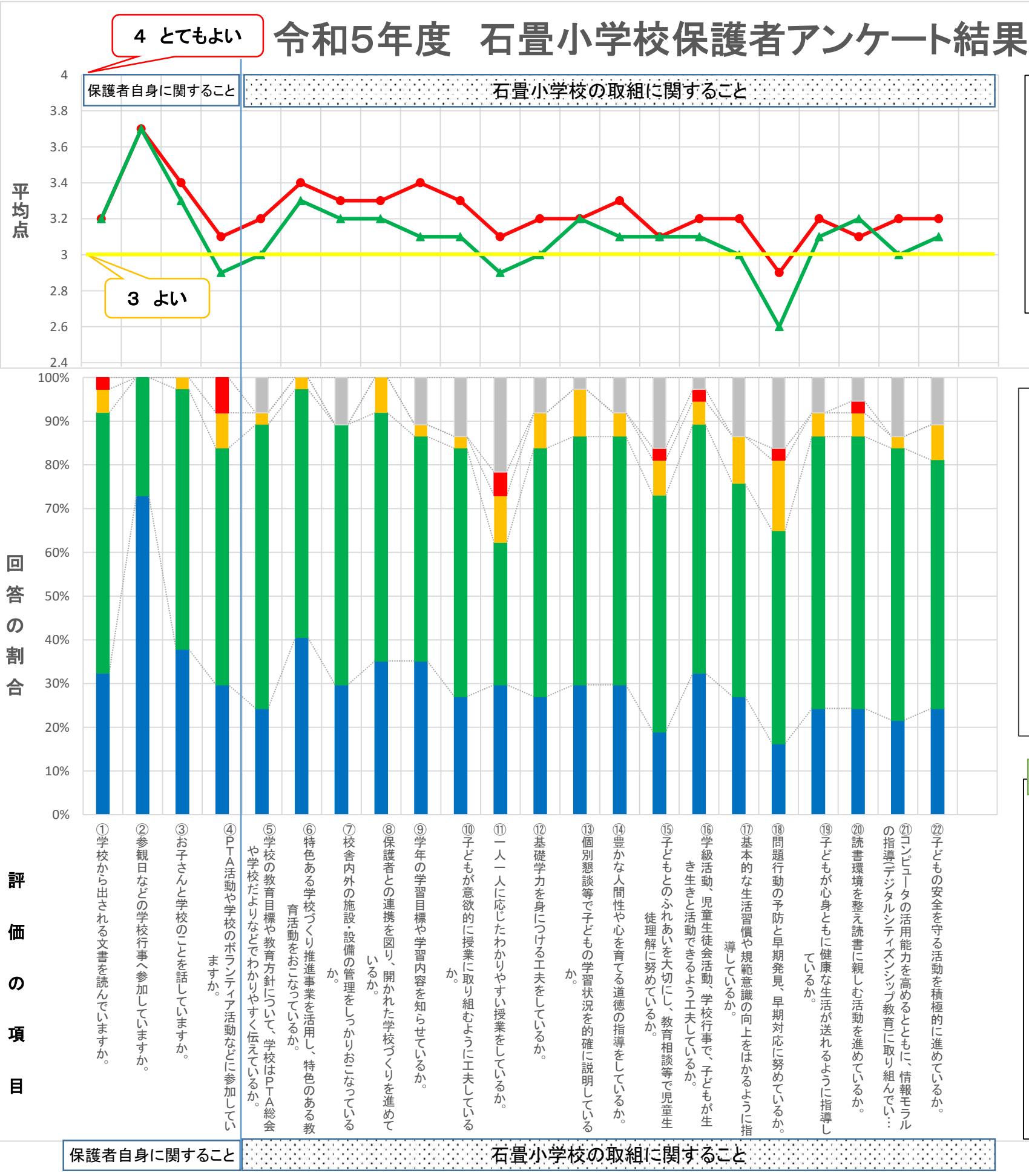




傾向の分析と考察

★グラフの見方

- 項目①～④は保護者の皆さんの取組、⑤から㉒の項目は学校の取組に関する結果です。
- ＜上段・・・折れ線グラフ＞
 - 各項目の、4段階評価の平均値を示しています。
 - 学校の取組（⑤～㉒）については、「わからない」の回答数を除いて平均値を求めています。
- ＜下段・・・帯グラフ＞
 - 各項目ごとの、本年度の回答の割合を示しています。
 - 保護者の皆さんの取組（①から④）については「わからない」という回答の選択肢はありません。

■保護者の皆さんの取組（項目①～④）について

- 学校への高い関心をいただいているとともに、機会さえあれば、学校行事などに積極的に参加していただいていることが伺えます。
- ボランティア活動についても、昨年度より積極的に参加していただいていることがわかります。本校では、地域学校共働本部のボランティア活動（通称：いしぼら）によって、多くの教育活動が支えられています。学校での様子を知るよい機会ともなりますので、さらに多くの参加を呼び掛けていきます。

■学校の取組（項目⑤～㉒）について

- 昨年度と比べて、全体的に高い評価をいただきました。
- 項目18「問題行動の予防と早期発見・早期対応」について、特に課題があるとのこと指摘です。
- ・本校では、児童が抱える問題・悩みの早期発見のために、平素から子どもとの対話や観察に努め、タブレットを使った悩み相談「先生あのね」も活用しています。また、年2回（5月・11月）の教育相談を実施し、その際に一人一人とじっくりと面談し、子どもたちが抱える問題の把握に努めています。
- ・毎月1回「子どもを語る会」を開き、子どもたちに関する情報を全職員が共有しています。また、必要に応じて随時、情報共有の機会を設けています。そこでの話し合いを基に、スクールカウンセラーや心の相談員、関係諸機関の力を活用しながら、学校全体で早期解決を目指して組織的に対応しています。
- ・問題解決のために児童を指導した際には、その指導・支援のようすが保護者の皆様にも伝わるように、努めてまいります。
- アンケート全般で「わからない」という回答が存在し、項目によっては2割程度を占めるものがあります。
- ・学校の教育活動の様子を保護者の皆様に知っていただくために、授業参観などの機会を定期的に設けるとともに、ホームページに授業や学校生活の様子を掲載していきます。